

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年4月9日(2020.4.9)

【公開番号】特開2020-28353(P2020-28353A)

【公開日】令和2年2月27日(2020.2.27)

【年通号数】公開・登録公報2020-008

【出願番号】特願2018-154443(P2018-154443)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年2月7日(2020.2.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

第1種類の有利状態と、前記第1種類の有利状態と比較して得られる遊技価値の期待値が低い第2種類の有利状態と、を含む複数種類の有利状態のいずれかに制御可能な有利状態制御手段と、

有利状態において、遊技媒体を進入させることが可能な状態に変化可能な可変进入手段と、

有利状態へ制御されることを報知する報知演出を実行可能な報知演出手段と、

前記報知演出の終了後、前記可変进入手段が遊技媒体を进入させることが可能な状態に変化するまでの特定期間において、特定演出を実行可能な特定演出手段と、を備え、

前記特定期間は、前記第2種類の有利状態に制御されるときよりも前記第1種類の有利状態に制御されるときの方が長く、

前記報知演出手段は、

前記第1種類の有利状態に制御されることを特定可能な態様で有利状態となる可能性を示唆した後に、前記第1種類の有利状態に制御されることを報知する第1報知演出と、

前記第2種類の有利状態に制御されることを特定可能な態様で有利状態となる可能性を示唆した後に、前記第2種類の有利状態に制御されることを報知する第2報知演出と、を実行可能であり、

前記特定演出手段は、

前記第1報知演出の終了後に実行され、前記第2報知演出の終了後に実行されない第1特定演出と、

前記第2報知演出の終了後に実行され、前記第1種類の有利状態に制御されることを報知する第2特定演出と、を実行可能であり、

前記第2報知演出と前記第2特定演出との合計の実行期間よりも前記第1報知演出と前記第1特定演出との合計の実行期間の方が長く、

前記特定演出手段は、前記第2報知演出の終了後に実行され、前記第2種類の有利状態に制御されることを報知する第3特定演出をさらに実行可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(A) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

第1種類の有利状態と、前記第1種類の有利状態と比較して得られる遊技価値の期待値が低い第2種類の有利状態と、を含む複数種類の有利状態のいずれかに制御可能な有利状態制御手段と、

有利状態において、遊技媒体を進入させることができ可能な状態に変化可能な可変進入手段と、

有利状態へ制御されることを報知する報知演出を実行可能な報知演出手段と、

前記報知演出の終了後、前記可変进入手段が遊技媒体を进入させることができ可能な状態に変化するまでの特定期間において、特定演出を実行可能な特定演出手段と、を備え、

前記特定期間は、前記第2種類の有利状態に制御されるときよりも前記第1種類の有利状態に制御されるときの方が長く、

前記報知演出手段は、

前記第1種類の有利状態に制御されることを特定可能な態様で有利状態となる可能性を示唆した後に、前記第1種類の有利状態に制御されることを報知する第1報知演出と、

前記第2種類の有利状態に制御されることを特定可能な態様で有利状態となる可能性を示唆した後に、前記第2種類の有利状態に制御されることを報知する第2報知演出と、を実行可能であり、

前記特定演出手段は、

前記第1報知演出の終了後に実行され、前記第2報知演出の終了後に実行されない第1特定演出と、

前記第2報知演出の終了後に実行され、前記第1種類の有利状態に制御されることを報知する第2特定演出と、を実行可能であり、

前記第2報知演出と前記第2特定演出との合計の実行期間よりも前記第1報知演出と前記第1特定演出との合計の実行期間の方が長く、

前記特定演出手段は、前記第2報知演出の終了後に実行され、前記第2種類の有利状態に制御されることを報知する第3特定演出をさらに実行可能である。

(1) 遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

第1種類の有利状態（たとえば、16R大当たり）と、前記第1種類の有利状態と比較して、得られる遊技価値（たとえば、賞球）の期待値が低い（たとえば、ラウンド数が少ない、大当たり後に大当たりになる確率が低い）第2種類の有利状態（たとえば、4R大当たり）とを含む複数種類の有利状態のいずれかに制御可能な有利状態制御手段（たとえば、遊技制御用マイクロコンピュータ100）と、

有利状態において、遊技媒体を入賞させることができ可能な状態（たとえば、開放状態）に変化可能な可変入賞手段（たとえば、特別可変入賞球装置7）と、

有利状態へ制御されることを報知する、報知演出（たとえば、リーチ期間から未確定図柄表示までの演出）を実行可能な報知演出手段（たとえば、演出制御用CPU120）と、

前記報知演出の終了後、前記可変入賞手段が遊技媒体を入賞させることができ可能な状態に変化するまでの特定期間（たとえば、図柄未確定期間から大入賞口開放までの期間）において、特定演出（たとえば、図柄未確定期間の演出、図柄確定期間の演出、ファンファーレ期間の演出）を実行可能な特定演出手段（たとえば、演出制御用CPU120）とを備え、

前記特定期間は、前記第2種類の有利状態に制御されるときよりも前記第1種類の有利状態に制御されるときの方が長く（たとえば、図9-3～図9-5、図9-7で示したように、16R確変大当たりの場合は、その他の大当たりの場合よりも、図柄未確定期間が長い。リーチ期間、図柄確定期間、ファンファーレ期間を長くするようにしてもよい。）、

前記報知演出手段は、

前記第1種類の有利状態に制御されることを特定可能な様で有利状態となる可能性を示唆（たとえば、7図柄リーチ）した後に、前記第1種類の有利状態に制御されることを報知（たとえば、7図柄揃いの未確定表示）する第1報知演出（たとえば、図9-7（B）のリーチ期間から未確定図柄表示までの演出、図9-9（B），（C）参照）と、

前記第2種類の有利状態に制御されることを特定可能な様で有利状態となる可能性を示唆（たとえば、偶数図柄リーチ）した後に、前記第2種類の有利状態に制御されることを報知（たとえば、偶数図柄揃いの未確定表示）する第2報知演出（たとえば、図9-7（A），図9-7（C）のリーチ期間から未確定図柄表示までの演出、図9-8（B），（C）、図9-10（B），（C）参照）とを実行可能であり、

前記特定演出手段は、

前記第1報知演出の終了後に実行され、前記第2報知演出の終了後には実行されない第1特定演出（たとえば、図9-7（B）の図柄未確定期間のファンファーレ演出と類似するファンファーレ前演出）と、

前記第2報知演出の終了後に実行され、前記第1種類の有利状態に制御されることを報知する第2特定演出（たとえば、図9-7（A）の昇格成功演出）とを実行可能であり、

前記第2報知演出と前記第2特定演出との合計の実行期間よりも前記第1報知演出と前記第1特定演出との合計の実行期間の方が長い（たとえば、図9-7（A）～（C）参照）。